

改装第65号

2013年11月29日発行
発行 福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
編集 機関紙編集委員会
発行人 酒井里巳

人と暮らし
環境に優しい
福祉社会の実現

ふくい 労福協

1. 暮らしの相談事業
に対する充実支援の
お願い
福井県からご支援をいた
だく中で、2007年8月
「ライフサポートセンター
福井」を開業することがで
きました。開設以来、生活に
関わる法律相談や労働問題、
社会問題となった多重債務
など暮らし全般にわたる相
談を受けてまいりました。

相談総数は、2013年9
月末時点で2,413件に
達し、「くらし」の中でも相
談所として、県民の皆様
に認知をいただいているも
のと思っています。
「ここ最近の傾向として相
談件数は減少気味ですが、
格差社会がますます拡大し
ていく中で、ますます重大し
くなる生活全般の様々なこ
とで「ライフサポ
ーター福
井」の充実が
向けて引き
続きご支援
をお願い申
し上げます。

つてくるものと考えます。
今後も、県民生活の質の
向上を目的に法律相談をは
じめ労働問題や金銭問題を
含めた生活全般の様々なこ
とで「ライフサポ
ーター福
井」の充実が
向けて引き
続きご支援
をお願い申
し上げます。

4. 福井県労働者住宅資金
金利子補給制度の安定的
な継続願
福井県労働者住宅資金利
子補給制度は、平成23年度

の制度改訂により所得制限
が250万円以下に引下げ
られたことにより、件数の
実績は、23年度は、22年度を
大幅に下回りましたが、24年
度は増加しましたが、融資
枠8億円を下回る実績とな
っています。
7億8,300万円
(7月で申込締切)
23年度 96件
3億6,400万円
24年度 134件
5億1,840万円
しかし、低所得者層の勤
労者住宅取得支援制度とし
ての福井県労働者住宅資金
利子補給制度の役割は大き
く、是非、来年度も制度の継
続を引続きお願い致します。

6. 買物弱者支援の
お願い
福井県民生協では200
9年より中山間地の買物に
不自由している組合員、地
域の方のための移動店舗
「ハート便」をスタートし、
現在10台で500拠点、毎
週約2,600人の方にこ
利用いただいています。
2010年には福井県の
「集落移動販売システム整
備モデル事業」に採択され、
福井会場では、主催者を代表して労福協酒井里巳事
務局長が挨拶を行い、北陸労金福井北支店 宮腰支店
長が退職後の年金や預貯金の取引について、また
全労済事業推進部 染谷氏は「退職後の契約や安心保障
など」について、説明とともに今後のご利用をお願い
した。

2年間の事業期間終了後も、
福井市川西地区で週2回巡
回しています。
過疎化が進む中山間地域
等では、買物に困る高齢者
が増え、買物支援の取り組
みは今後もますます需要が増
えると思えます。福井
県民生協としても、こうし
た買物支援の取り組みにつ
いては今後も積極的に取り
組んでいく計画ですが、福
井県においても、買物弱者
対策を一層進めたいと思っ
ますようお願いいたします。

平成26年度 諸制度への要望内容(抜粋)
私たちが取り巻く情勢は、東日本大震災の復興・再生がなかなか進まない中、税と
社会保障の問題、領土の問題、エネルギーの問題など、根幹的な課題が山積みになっ
ております。また、少子高齢化が急速に進む中で、これらの問題にとどまらず、向き合うべ
きか、一人一人が真摯に受け止めて考えなければならぬことだと思います。
また、経済状況にもまだまだ明るいさが見えない中、雇用・労働環境にも多くの課題
が山積しています。このような中、私たち労福協は、各事業団体の連携を深め、全ての
労働者が共助し合える社会を作るべく取り組んでいるところで、実現に向けてご検討下さ
いますようお願い申し上げます。

福井県の平成26年度予算編成にあたり、労働関係事業団体(福井県労
福協他6福祉事業団体)は、11月26日福井県庁会議室において、西川
県知事(以下知事)との意見交換会を行った。
冒頭、知事並びに山岸労福協会長挨拶の
あと、福祉団体及び勤労者への支援、各種
制度の充実・拡充に向けた諸制度への要望
書を知事に提出した(写真参照)。続いて、
労福協酒井事務局長が要請内容の説明を行
い、産業労働部山田部長より要請に関わる
内容について福井県として理解を示され
た。その後、各事業団体代表者と知事との
意見交換を行った。
提出した要望書は次の通りです。

福井県労働者住宅資金利
子補給制度は、平成23年度
の制度改訂により所得制限
が250万円以下に引下げ
られたことにより、件数の
実績は、23年度は、22年度を
大幅に下回りましたが、24年
度は増加しましたが、融資
枠8億円を下回る実績とな
っています。
7億8,300万円
(7月で申込締切)
23年度 96件
3億6,400万円
24年度 134件
5億1,840万円
しかし、低所得者層の勤
労者住宅取得支援制度とし
ての福井県労働者住宅資金
利子補給制度の役割は大き
く、是非、来年度も制度の継
続を引続きお願い致します。

3. 制度融資「勤労者
生活安定資金」の継
続並びに周知願
勤労者ライフプラン資金
融資制度は「勤労者生活安
定資金制度」として昭和53
年の制度発足以来、県下自
治体統一制度として延べ約
8万5,000人、818
億円(平成33月末)の勤
労者の方にご利用いただい
ております。
平成23年度からは、印鑑
証明書を徴求不要として頂
き、必要書類の簡素化が図
られたこともあり、利用件
数は22年度以前より増加し
ております。
来年度も勤労者に幅広く
利用できるように制度(預託
金方式)を現行制度(預託
金方式)とこれら制度内容と
ともに、これら制度内容に
ついて幅広く県民に周知す
べく広報誌等に掲載をお願
い致します。

5. 多重債務者対策に
係る情報交換並びに連
携のお願い
北陸労働金庫においても、
平成19年に「北陸ろうきん
生活応援・多重債務対策本
部」を設置し、労福協・会員
と連携を図りながら、多重
債務問題を積極的に取組ん
でおります。
福井地区では「ライフサ
ポートセンター福井」への
職員派遣、「くらし」なん
でも相談会」への相談員の派
遣など、労福協と連携し多
重債務に関する相談活動を
展開してまいります。
・会員とはセミナー・学習
会等による多重債務やマネ
ィトラブルに対する予防・
啓発・相談活動などを展開
するとともに、「北陸ろう
きん相談ネットワーク」と
して弁護士・司法書士との
ネットワークの構築し、多
重債務者の問題解決に努め
ていきます。
今後も、「福井県多重債務
者対策協議会」との情報交
換並びに連携をお願い致し
ます。

退職・再雇用に伴う60歳からの
社会保険制度について
福井労働協主催、労働金庫 全労済が共催する「退
職前ライフプランセミナー」が2013年10月26日
(土)福井地域(午後)と敦賀地域(午前)の2会場
(福井市・敦賀市)で開催した。このセミナーは60歳
前の勤労者を対象に毎年開催しており、退職前後の準
備や手続きや年金・健康保険・雇用保険について、専
門家が説明するセミナーです。参加者は福井61人、
敦賀21人と多くの方が参加した。
福井会場では、主催者を代表して労福協酒井里巳事
務局長が挨拶を行い、北陸労金福井北支店 宮腰支店
長が退職後の年金や預貯金の取引について、また
全労済事業推進部 染谷氏は「退職後の契約や安心保障
など」について、説明とともに今後のご利用をお願い
した。

本題のセミナーは、社会保険労務士の青垣智則氏が
ら、社会保険制度(継続・再雇用による厚生年金との
調整やパート・無職の時の年金や健康保険の加入、雇
用保険制度など)について、具体的な事例を挙げなが
ら、わかりやすい説明を受けた。
参加者からは、各制度が関連
して複雑であるが、各制度の概
要が理解でき
た。定年
退職後の働
き方など今
後の参考に
したいと思
った。
福井会場風景
敦賀会場風景

福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
機関紙編集委員会
発行人 酒井里巳

福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
機関紙編集委員会
発行人 酒井里巳

福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
機関紙編集委員会
発行人 酒井里巳

福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
機関紙編集委員会
発行人 酒井里巳

福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
機関紙編集委員会
発行人 酒井里巳

福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
機関紙編集委員会
発行人 酒井里巳

福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
機関紙編集委員会
発行人 酒井里巳

福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
機関紙編集委員会
発行人 酒井里巳

福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
機関紙編集委員会
発行人 酒井里巳

福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
機関紙編集委員会
発行人 酒井里巳

福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
機関紙編集委員会
発行人 酒井里巳

福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
機関紙編集委員会
発行人 酒井里巳

福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
機関紙編集委員会
発行人 酒井里巳

福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
機関紙編集委員会
発行人 酒井里巳

福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
機関紙編集委員会
発行人 酒井里巳

福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
機関紙編集委員会
発行人 酒井里巳

福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
機関紙編集委員会
発行人 酒井里巳

福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
機関紙編集委員会
発行人 酒井里巳

福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
機関紙編集委員会
発行人 酒井里巳

福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
機関紙編集委員会
発行人 酒井里巳

福井県労働者福祉協議会
福井市問屋町1丁目35番地
電話 0776-21-5929
機関紙編集委員会
発行人 酒井里巳

2013年生活応援
年末キャンペーン
住宅ローン借換キャンペーン
北陸ろうきん
ATM利用手数料全額返還サービス
0!

全労済 おかげさまで、「こくみん共済」は30周年を迎えました!
このたび、全労済の主力商品である「こくみん共済」は、1983年の取り扱い開始から30周年を迎えました。
1. こくみん共済のあゆみ
2. ロゴマーク
3. キャッチコピー
4. こくみん共済30周年記念サイト

～福井県民生協は、食育・環境・福祉・子育て支援・その他社会貢献分野の活動を応援します!!～

県民せいきょう 市民活動助成金

大募集!

市民活動助成金制度は、よりよい地域社会づくりに貢献するために、県内の公益的社会的に取り組むNPOや、市民団体の活動や育成を、資金面で支援する制度です。年間、1団体最大10万円、総額100万円の助成を行います。

★使途基準

- ①活動・事業に要する運営費用の一部
 - ②目的をもった物品の購入費用の一部
 - ③活動・事業立上げに要する費用の一部
- ※人件費や事務所費は対象となりません。

★応募資格要件

- ①福井県内を主たる活動の場として、社会公益的な活動をしていること。
- ②法人の有無、他から助成を受けているかどうかは問いません。営利、宗教、政治や趣味などの団体は除きます。
- ③定款または会則・規則があり、決算報告または収支報告があること。
- ④福井県民生協組員が最低1名以上参加していること。

★応募の制限

- ①1団体1分野での申請に限りま。
- ②育成支援やより多くの団体への支援の意味から助成期間は最高2回とします。



募集期間：2013年12月1日(日)～2014年1月31日(金)

◆◆詳しくはお問い合わせください◆◆

県民せいきょう コールセンター

0120-016-165

携帯電話、IP電話などからは、

0570-016-165

(通話料は金額、発信者負担)

<受付時間>月～金/8:30～20:00

土/9:00～17:00

2013年度 中部労協研究集會報告

「11月26日(火)・27日(水)にかけて、全県において中部労協研究集會の開催が行われ、全県から約100名が参加しました。今年集會の趣旨は次の通りです。

「集會の趣旨として、全県から参加した各団体の代表者が集まり、生活保護基準の引き下げ、労働環境の悪化、ブラック企業、非正規労働者など、様々な問題について話し合い、今後の対策について意見交換を行いました。

集會は、生活保護基準の引き下げ、労働環境の悪化、ブラック企業、非正規労働者など、様々な問題について話し合い、今後の対策について意見交換を行いました。

集會は、生活保護基準の引き下げ、労働環境の悪化、ブラック企業、非正規労働者など、様々な問題について話し合い、今後の対策について意見交換を行いました。

■集會の模様
 集會の様子は、生活保護基準の引き下げ、労働環境の悪化、ブラック企業、非正規労働者など、様々な問題について話し合い、今後の対策について意見交換を行いました。

集會の様子は、生活保護基準の引き下げ、労働環境の悪化、ブラック企業、非正規労働者など、様々な問題について話し合い、今後の対策について意見交換を行いました。

ろうふく見聞ツアー

香港4日間の旅

11月22日(金)～25日(月)

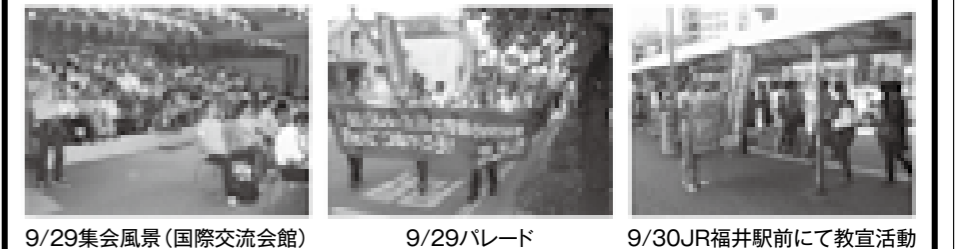
今回の見聞ツアーは、この企画が始まって以来最高の26名の参加で、普段話す機会のないメンバーもおられました。そこは連合福井の団結で、すぐに笑顔の絶えない楽しい交流と研修ができました。



ろうふく見聞ツアーの集合写真

「人間らしい生活と労働の保障を求めて、つながろう！」 2013年 反-貧困、全国キャラバン in 福井

反貧困全国キャラバン2013活動(スタート地点=沖縄県と北海道の東西ルート。8月22日にキャラバンカーをスタート。全国縦断しゴール地点は大阪11/24予定)を展開している。その全国キャラバンカーが各県をまわり、9月29日(日)福井にやってきました。当日は国際交流会館でライブ(Asianまんはったん)、基調講演(生きづらい社会だけど、つながることで何かが変わる、自死遺族アルメリアの会代表 梅林厚子氏)を開催した。続いて労働(教育現場、生活保護者、ブラック企業で働く人など)の現場からのレポートを行い「集会アピール」を宣誓した。集会のあと、「貧困をなくそう」と、パレード(会場～福井駅周辺)で沿道に訴えた。翌30日は、JR福井駅前での宣伝活動(チラシ配布)、県庁前での出発式のあと、アオッサを会場に「心配ごとなんでも相談会」を開催した。



「集会アピール」
 いま、私たちの社会は生きづらくなっています。今年8月から生活保護基準の引き下げが始まりました。労働分野では非正規労働者が増え、ブラック企業など劣悪な環境での労働を強いられる人も少なくありません。子どもを取巻く環境では、保育所の待機児童の問題や奨学金制度の不十分な制度設計による被害も広がっています。貧困家庭の子がさらに貧困に陥る「貧困の連鎖」は深刻です。そして、生きづらさは、自死をも招きます。貧困・格差の問題は、私たち一人ひとりの生活と生存と尊厳にかかわる問題です。この問題を放置しておく、社会全体に、そして将来世代に社会問題を引き起こすこととなります。誰もが希望をもって生活できる「もっとやさしい社会」になるように私たちは、共につながり、貧困と格差解消を目指していくことをここに決意します。

癒しの旅 倶楽部

旅行積立プランのご案内
 ろうきん友の会 会員様限定商品

業界最大級のサービス額!

ユニオントラベル福井が自信を持ってお届けする!
 申し込んだ方は必ず得をする、旅行積立プランです。

目標満期額を決め、お小遣いを少しずつ積み立てていただきます。お支払い合計額にサービス額がプラスされた額が満期額となり、年に何度も旅行に行かれる方には特にお勧めしたい大変お得なプランです。旅の楽しみを積み立てから始めていただくことで、私どもも精一杯のお手伝いをしていきたいと考えております。是非、お問い合わせの上、一人でも多くの方にご入会いただきますようお願いいたします。

お問い合わせお申込みは **ユニオントラベル福井** TEL 0776-21-2312